

## 教科別授業改善推進プラン（家庭科）

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICTを活用したことで、調理や裁縫の手順を確認しイメージをより具体的にもち、調理や裁縫に取り組むことができた。
- ・調理実習で火をつけたり野菜を切ったりするような学習の重点を全員に経験させたことにより、調理の基礎・基本の定着が図られた。

#### (2) 課題

- ・家庭科の学習で身に付けたことを、実生活で実践する機会を増やすこと。

### 2 重点課題

5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・裁縫の基本的な技能（玉結び・玉どめなど）を定着させること。</li><li>・調理に必要な用具や器具を適切に扱えるようにすること。</li></ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・掃除や調理など実生活で実践し、その意欲を継続すること。</li><li>・グループで話し合いながら掃除や調理実習の実践計画（役割分担や使用する用具・器具など）を立てること。</li></ul>

### 3 授業改善策

5年	<ul style="list-style-type: none"><li>・裁縫では、写真や絵だけでなく、動画で玉結びや玉どめの手順を確認させる。</li><li>・保護者から裁縫ボランティアを募り、複数名で指導する。</li><li>・児童のタブレットに手順動画を載せ、必要に応じて参考動画を確認しながら手縫いを進められるようにする。</li><li>・放課後に個別で裁縫の指導をする。</li><li>・調理では、火をつけたり野菜を切ったりするような学習の重点は、全員に経験させる。</li></ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"><li>・授業で学んだことを日々の生活で実践できるように、どのような場面で生かせるかについて学級全体で理解を深める時間を設ける。</li><li>・家庭での実践（調理や掃除、衣服の手入れ）を宿題として取り入れる。</li><li>・教師が見本の計画を提示した後で、グループで実践計画を立てさせる。</li></ul>